

みどい生活の楽しみ③ - 『X'masリース』を楽しむ -



12月になると街に出かけるのがとても楽しみです。あちらこちらから聞こえるジングルベルや赤鼻のトナカイと、年末大バーゲンの呼び込みの声とが混ざり合って、とても賑やかでわくわくします。その光景で目に入ってくるのが『X'masリース』ですね。木の実・赤いリ

ボンなどでデコレーションされたモミノキやヒイラギの楽しいリースがいっぱい。そして夜には星の輝きとともに、きよしこの夜やホワイトX'masが流れ、ムード満点。雪が積もったようなエレガントなX'masリースが浮かび上がります。キリストの信仰が無くてもこの時期になると、私たちの心はMerry X'masになってしまいますね。

『X'masリース』の豆知識

■その1 リースの形

サークル状で『丸・円・輪』始めと終わりが無く『永遠』を象徴し、結婚指輪の永遠の愛の誓い、葬儀の花輪は形無き後の永遠の思い出と永遠の魂などを象徴します。同じくX'masリースは、『キリストの誕生と、この世に生まれて永遠（永遠の愛）であることを象徴』しています。

■その2 X'masカラー

『赤：人間の罪を救うためにキリストが流した血の色』『緑：エバーグリーン（常緑樹）ヒイラギ・モミ・ヒムロスギなど永遠の命』『白：汚れの無い純粋な美しさ』『金・銀：富や希望』『紫：懺悔』とされています。デコレーションにも伝統があり、X'masフラワーには『ポインセチア：赤・緑のX'masカラーと星の形』『ヤドリギ：魔除け、吉兆延寿の木』『ヒイラギ：刺がキリストの受難、赤い実はキリストの血』など。

■その3 装飾

装飾の小物には『X'masカラーのリボン・鈴・木の实・正しい道を示すといわれる星』などを飾り付けます。『アドベント・クラッツ（降臨節）』というリースがあります。クリスマスの4週間前から飾られ、4本のキャンドル（アドベントキャンドル・命の灯）をリースに立て、日曜日毎に1本ずつ灯し、全てが灯された時にクリスマスがやってきます。いわゆるカウントダウンですね。

リースの作り方

リースの作り方は、ドライと生花、壁掛けタイプと、置くタイプによって違いますがここでは身近なクリーニングのハンガーを使って、誰でも作れる簡単でポピュラーな壁掛けタイプの作り方をお教えします。



フックはそのままにしてグニャーと丸く伸ばして円に整えます。その上をヒバやヒムロスギなどの小束をのせ、ワイヤーやタコ糸でしっかりと巻き付け、足して巻く、足して巻く、を繰り返して出発点にたどり着いたら結んで土台の出来上がり。その上をお好きなオーナメントをワイヤーで固定して飾ります。簡単ですから作ってみてください。

庭の木や花など身近な素材でもオリジナルのリースが作れますよ。コニファー類でまとめれば森林浴風リース。秋深く色々な落ち葉を集めると美しい黄金色のリース。小枝や蔓をサークルにまとめ赤い実を付けナチュラルなリース。可愛い木の実のリースにワインのコルク栓を足せば、聖夜に乾杯なんて気分になるかも。野草や多肉植物などリング状の鉢に作った寄せ植えのガーデニングリースは如何でしょう。クリスマスの後も輪の中で花が咲き、葉が茂り、四季を楽しめますよ。どれも星やサンタを添えてX'masリースの出来上がりです。

また、リースの形を星やハートの形に変形させてみてもおしゃれなリースになります。素材をあれこれ集めるのもX'masリース作りの楽しみのひとつ、是非チャレンジしてみてください。



貴方が作ったリースにはどんな音楽が聞こえてくるでしょうか。

昨年のクリスマスは、梅田のあるビルのエントランスに高く吊り下げられた巨大な月の形のリースが印象的でした。今年も素敵なリースに出会えるのが楽しみです。皆さんも今年のクリスマスには『X'masリース・ウォッチング』に街へ出かけてみませんか。

竹越美智子（大阪テクノ・ホルティ園芸専門学校）